

セキュリティ

脅威に備え、大会の安全・安心を確保

観客や大会関係者などの安全・安心を確保する。

競技会場や関係施設への入場時に確実なセキュリティチェックを実施する。

テロやサイバー攻撃などの脅威に備える。

警備指揮所

50か所

民間ガードマンによる警備

1万4,000人

来場者等に対する スクリーニング機器

X線検査機 700台
セキュリティゲートシステム 150レーン

セキュリティカメラ

セキュリティカメラ機器 1万台
高度センサー 1,200式

車両に対する スクリーニング資機材

車両検査システム 200レーン

サイバーセキュリティ対策

サイバー合同訓練
サイバー攻撃に対する情報収集・分析業務

公的セキュリティ機関 による警備(参考)

警察官 2万1,000人
消防隊・救急隊 6,000人
(立候補ファイルより)



※現時点の積算上の数量・人数等

今後の検討事項

警備指揮所

既存施設の活用、レガシー化の検討

警備資機材

関係機関との連携によるレガシー化の検討

広域化に伴う経費増

1/3の会場が東京都以外となることに伴い、セキュリティの経費が増加見込み